

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 27 年 12 月 22 日

設置・運営主体	株式会社日本保育サービス		
設置主体	株式会社日本保育サービス		
経営主体	株式会社日本保育サービス		
事業所名 (施設名)	アスク東川口保育園	種別	保育所
所在地	〒 333-0811 埼玉県川口市戸塚4-21-1		
電話	048-298-0083		
FAX	048-242-3700		
Email	GSP29375@nifty.com		
URL	http://www.nihonhoiku.co.jp/		
施設長氏名	加藤 美磨里		
調査対応担当者	加藤 美磨里/染井 しの (所属、職名：園長/本部管理課)		
利用定員	90名	開設年	平成 17 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【運営理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セーフティ（安全）&セキュリティ（安心）を第一に 2. お子様を一日を楽しく過ごし、思い出に残る保育を 3. 利用者（お子様・保護者ともに）のニーズにあった保育サービスを提供 4. 職員が楽しく働けること <p>【保育理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら伸びようとする力 ・遊びや生活の中で子どもたちの感受性や好奇心を伸ばし、「自ら伸びようとする力」を育てることを目指す。 2. 後伸びする力 ・目先の結果を期待するのではなく、様々なプログラムや行事を通して子どもたちの感受性や好奇心を伸ばし、生涯にわたる基礎を作り、後伸びする力を育てる保育を目指す。 3. 視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚の五感で感じる保育 ・四季や自然の力を体感させ、視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚の「五感で感じる保育」の充実を目指す。 <p>【園目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①思いやりのある優しい子ども ②豊かな感性を持ち、自分を表現できる子ども ③元気で最後まで頑張る子ども <p>【異年齢混合保育における保育目標】</p> <p>* 異年齢の関わりの中で成長できる子 *</p> <p>信頼関係、思いやり・やさしさ、自立・自律、愛しむ心・憧れの心、たくさんの愛</p>			

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	9	9	1		3
1歳児	14	15	1		3
2歳児	16	16	1		3
3歳児	17	17	1		1
4歳児	17	17	1		2
5歳児	17	17	1		1
計	90	91	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		15人	
うち	保育士	14人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	(委託) 1人	その他 () 0人
非常勤職員数		16人 (常勤換算	8.8人)
うち	保育士	7人 (常勤換算	3.4人)
	保健師・看護師	1人 (常勤換算	0.4人)
	栄養士・調理員	(委託) 4人 (常勤換算	3人)
	その他 (事務員 保育補助)	4人 (常勤換算	2人)

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 2人	非常勤： 1人
	退職	常勤： 3人	非常勤： 2人

(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢 31.5 歳 (32 歳)

(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数 2.5 年 (2.6 年)

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	
延長保育	○	月極利用(10回以上) 1時間延長 2,500円 2時間延長 4,000円 スポット利用(9回以上) 250円/回 400円/回
休日保育	—	
障害児保育	○	
一時保育	—	
地域子育て支援センター	○	年齢別クラス 100円/月 製作の会 100円/月 クッキング 500円/回
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	—	
アレルギー等対応給食	○	
その他(事業名:)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 27年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

12人

・ボランティアの業務

・園内清掃 ・手遊び ・園内環境整備 ・植木の剪定 ・行事補助 ・絵本の読み聞かせ

【実習生の受け入れ】

・平成 27年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 0人

介護福祉士 0人

その他 6人 (保育士)

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	393.66 m ²	
	児童1人あたり	6.6 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	228 m ²	
	児童1人あたり	3.8 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	27年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・ご意見箱の設置
- ・行事毎のアンケートの実施→回答
- ・全体会、懇談会の開催
- ・送迎時の伝達

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

今年度は、新年度が始まる際に職員へ目標を提示し、そのことについて日々意識してきました。地域交流においては、自園開催の夏祭りで初めて地域の方々に参加していただいたり、朝や夕方の駐車場付近での交通整理の際には、気持ちの良い挨拶を心がけてきました。保育面においては、アクシデントを振り返り、「子ども一人ひとりを大切にする保育とは？」を考え、園内ヒヤリハットマップの取り組みなど、園内研修を重ねながら周知してきました。また、子どもたちが自主的に遊びを選び、頭や身体を使って過ごせるよう、各職員の保育環境での工夫がみられました。今年度からマラソンを取り入れるといった取り組みもその一つの例です。健康面においては、看護師の指導のもと、感染症予防のために手洗い指導、虫歯にならないよう歯磨き指導を定期的に行うことで、子ども自身がしっかりできるようになりました。今年度より変更となる延長料金や捕食夕食の実費精算の際も、保護者へ早めに告知し、全体会を開いて周知を行うことで、スムーズに移行することができました。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数(前回の受審時期)

8 回 (平成 26 年度)